

学習指導要領		都立葛飾商業高校 学カスタンダード
(1) 私たちの時代と歴史	<p>現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史的事象と現在との結び付きを考える活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付かせる。</p> <p>開国前後から第二次世界大戦終結までの政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、相互の関連を重視して考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最近のニュースから題材をもとに、過去の歴史が現代社会に影響を与えていることに気づき、歴史に関心を持ち、歴史を学ぶ意義を理解する。 ・明治維新の前提として、前近代の歴史の流れや各時代の特徴を理解している。 ・主として近代以降の政治、経済、社会、文化の歴史が現代社会に大きな影響を与えていることを相互の関連性に注目しながら考察する。
(2) 近代の日本と世界	<p>ア 近代国家の形成と国際関係の推移</p> <p>(ア) 近代の萌芽や欧米諸国のアジア進出、文明開化などに見られる欧米文化の導入と明治政府による諸改革に伴う社会や文化の変容、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手工業の発展、国学や蘭学などの新しい思想や学問の登場寺子屋などの教育機関の発達を知るとともに、これらが日本の近代化の基盤になったことを理解する。 ・江戸時代の日本の対外関係について理解する。 ・近世後半の産業、教育や学問・思想などの発展について理解し、さらに、これらが近代文化の基盤となったことを理解する。 ・アメリカやロシアからの開国要求を契機に、江戸幕府が開国したことを知る。 ・日米修好通商条約の締結によって、日本が欧米の貿易市場として開かれ、欧米諸国が作り上げた世界貿易システムに組み込まれたことを理解している。また、その内容が不平等な条約であったことを知る。 ・文明開化のスローガンのもとで欧米文化が導入され、人々の生活が変化していったことを知る。 ・明治政府の初期の諸政策によって、近代日本の基礎が形成されたことを理解する。 ・明治政府の中央集権化・藩閥専制の傾向に対し、自由民権運動がおこり、国民の政治的関心が高揚し憲法制定・国会開設に至る、一連の動きを理解する。 ・学制や徴兵令、地租改正などの諸改革を実施したことを知る。 ・初期の外交政策は、欧米に対しては不平等条約の改正、一方、アジア諸国に対しては強硬な態度で臨んだことを理解する。また、この時期に、日本の領土が国際的に確定したことも理解する。

学習指導要領	都立葛飾商業高校 学カスタンダード
<p>(イ) 条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤に注目して、国際環境や政党政治の推移について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明治前半では、条約改正が最大の外交課題であり、この克服においては、国際情勢と国内情勢の推移が密接に関係し、進められたことを理解する。 ・ 日清・日露戦争の経緯と結果、また、この戦争を経て、アジアに対して日本が進出していったことを理解する。 ・ 日清戦争は下関条約によって講和が成立したことを知る。 ・ 三国干渉によって日本とロシアの対立が激しくなったことや列強の中国分割が進んだことを知る。 ・ 日英同盟を結んだ日本は、ロシアと朝鮮や満州の権益をめぐり対立し、日露戦争に至った経緯を知る。 ・ 日露戦争はポーツマス条約によって講和が成立したことを知る。 ・ 日清・日露戦争を通じて日本は国際的地位を高め、韓国併合を行うなど東アジアでの勢力を拡大させたことを知る。 ・ 明治後半から大正期において、国内的に政党政治が展開したことを理解する。 ・ 日清戦争のころに、殖産興業政策や松方財政の結果、日本に産業革命がおこり、資本主義が確立したことを理解する。 ・ 資本主義の発展によって産業構造が変化し、これにともない、都市における貧民問題や労働問題など、さまざまな社会問題が発生したことを理解する。 ・ 社会運動の広がりとともに、大正期には女性解放運動が展開したことを理解する。 ・ 国家主義思想や大正デモクラシーの風潮に着目して、明治期と大正期の思想の違いについて理解する。 ・ 国民統制において、教育政策や国家主的思想が果たした役割について理解する。 ・ 明治～昭和初期の文化的業績について理解する。 ・ 明治～昭和初期の文化の背景としての都市生活の発展について理解する。 ・ 第一次世界大戦に日本が参戦した意図、また第一次世界大戦を通しての日本の外交方針について理解する。 ・ 第一次世界大戦後、国際的に民族運動が高まったことについて理解する。

学習指導要領	都立葛飾商業高校 学カスタンダード
<p>イ 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢 (ア) 産業革命の進行、都市や村落の生活の変化と社会問題の発生、学問・文化の進展と教育の普及、大衆社会と大衆文化の形成に着目して、近代産業の発展と国民生活の変化について考察させる。 (イ) 諸国家間の対立や協調関係と日本の立場、国内の経済・社会の動向、アジア近隣諸国との関係に着目して、二つの世界大戦とその間の内外情勢の変化について考察させる。</p> <p>ウ 近代の追究 近代における政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向が相互に深くかかわっているという観点から、産業と生活、国際情勢と国民、地域社会の変化などについて、具体的な歴史的事象と関連させた適切な主題を設定して追究し表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を育てる。 第二次世界大戦後の政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、現代の諸課題と近現代の歴史との関連を重視して考察させる。</p> <p>ア 現代日本の政治と国際社会 占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一次世界大戦が日本に与えた経済的な影響について理解する。 ・ 国内的な第一次世界大戦以後の慢性的な不況と、国際的な世界恐慌による資本主義諸国の経済危機について把握し、日本および各国が、このような状況をどのように克服していったのかを理解する。 ・ 軍部の台頭の過程と、これにともなう政治的な状況の変化について理解する。 ・ 中国・アメリカを中心とした国際関係の変化にも着目しながら、太平洋戦争に至る過程を理解する。 ・ 太平洋戦争に至る過程のなかで、国民生活はどのように変化したのかを理解する。 ・ 日本がアジア諸国に対して与えた影響について理解する。 ・ 戦争による国民生活の窮乏と苦難、日本が敗戦に至る様相を考察する。 ・ 近代以降の身近な歴史、地域の歴史を取り上げ、歴史を取り上げ、テーマを決めて諸資料から考察し、日本の歴史の流れの中に位置づけることができる。 ・ 第二次世界大戦後の連合国による対日占領政策、民主化の諸改革の内容について理解する。 ・ 日本国憲法について、その制定までの過程や内容の特徴を理解する。 ・ 日本の経済復興の過程を理解する。 ・ 戦後の深刻な国民生活の実態について理解する。 ・ 国際的な冷戦のはじまりと、日本に対する占領政策の転換からサンフランシスコ平和条約の締結に至る経緯と背景について、理解する。 ・ 主権回復後の日本の国内的な政治の推移と、新しい外交関係の確立の動きについて理解する。 ・ 高度経済成長の実態と、その歴史的意義について理解する。 ・ 石油危機にともなう日本国内の動きを、国際情勢の動向をふまえて、理解する。 ・ 国際的な冷戦の終結後の世界情勢と、国内的な 55 年体制の崩壊について、理解する。

学習指導要領	都立葛飾商業高校 学カスタンダード
<p>イ 経済の発展と国民生活の変化 戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>ウ 現代からの探究 (3) 現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史にかかわる身の回りの社会的事象と関連させた適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その解決に向けた考えを表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身につけさせる。</p> <p>現代の日本と世界</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の日本がかかえる諸課題について、国際社会での役割、国内的な問題という面から理解する。 ・敗戦後の国民生活について、食料不足などの危機的状況にあったことを理解する。 ・高度経済成長期において、科学技術の発達、産業構造の変化、消費の拡大など、これを機におきた変化の内容について理解する。 ・高度経済成長期には、経済発展の一方で、都市化、農山漁村の過疎化、公害の発生など、さまざまな社会問題が表面化したことを理解する。 ・1970年代以降の消費生活の変化、その背景としての家族形態の変化について理解する。 ・1990年代以降の国民生活については、経済的背景としての雇用状況の変化、また、ネットワークの発展が大きなキーワードであることを理解する。 ・現代の日本社会が直面する身近な社会的事象や、地域の事象、現代の課題などについて、様々な資料等を活用して、具体的な事例とともに考察する。